

# 京都 ライトハウス 通信

# No. 148

2017年1月1日発行

編集人 山本たろ / 社会福祉法人 京都ライトハウス

〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町 11 代表番号 TEL 075-462-4400 FAX 075-462-4402

鳥居寮 TEL 075-463-6455 相談支援室・ほくほく TEL 075-462-0808 ライトハウス朱雀 TEL 075-803-1739

URL: <http://www.kyoto-lighthouse.or.jp> E-mail: [info@kyoto-lighthouse.or.jp](mailto:info@kyoto-lighthouse.or.jp)

郵便局振替口座 (後援会)01090-3-9080 (運営資金寄付)00960-5-153295

1979年(昭和54年)8月15日創刊 題字デザイン 増見家弘



あいあい教室プレイルーム 大好きな絵本の時間「ふうせんどこにいったかな?」(撮影:榎並悦子さん)

特集

「あいあい教室 創設40周年」  
時代を超えて大切にしてきたものをこれからもずっと

⑥  
⑨

## 灯台守



### 新年の「あーっ」

明けましておめでとーございませう。迎えた年が皆様にとって良い年となりますことをこころからお祈り申し上げます。

昨年は、京都ライトハウスの歴史にとりまして、長年の夢でありました「高齢者総合福祉センターライトハウス朱雀」の開所という大きな節目の年となりました。改めて、皆様の御高配・御厚志に深く感謝申し上げます。この施設の開設によりまして、本法人は、本来の意味で、視覚等に障害のある子どもさんから高齢の方まで、自立した生活や社会参加が支援できる一貫体制を整えることができました。

今年はこの一貫体制が真に力を発揮できるかどうかの正念場の年となります。このため法人では、新施設の安定的な経営の確保はもちろん、施設・事業所間の連携を強化し、必要とされる方に必要なサービスを つなげていく一方、役職員が一体となって法人の諸活動を着実に前進させていく組織づくりに取り組んで参りたいと考えております。

皆様方には、引き続き本法人の取組に御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭に当たったのご挨拶とさせていただきます。

2017年元旦 京都ライトハウス 理事長 神谷俊昭

目次

灯台守	①	おれい	⑩ ⑪
法人・部署報告	② ⑤	京ラ窓	⑫
お知らせ	⑤		

法人報告 2016年9月～2016年10月

- 9月
  - 1日 事業運営会議
  - 9日 故鳥居篤治郎先生遺徳顕彰会鳥居賞伝達式
  - 15日 事業運営会議
  - 26日 ライトハウスまつり合同実行委員会
  - 27日 あい・らぶ・ふえあ実行委員会
  - 29日 啓発活動／京都市営地下鉄四条駅
- 10月
  - 6日 事業運営会議
  - 10日 白杖安全デー
  - 11日 職員研修／部署を知る（朱雀）（28日）
  - 20日 事業運営会議
  - 21日 法人理事会
  - 30日 ライトハウスまつり

京都で白杖デー  
安心して歩ける街を  
300人が市内パレード



市内をパレードする視覚障害者たち

「白杖安全デー」が「安心して歩ける街づくり」の一環として実施された。約300人が市内をパレードし、白杖の重要性をアピールした。また、視覚障害者への支援を呼びかけた。【平井俊行】

バスを装着して、市内約2キロをパレードした。この取り組みは、京都府視覚障害者協会などで作る実行委員会が主催。1967年の初開催から今回で50回目を迎えた。この間、街には点字ブロックや音響信号機などが整備されてきた一方、点字ブロックの上に荷物や自転車が置かれていて通れなかったり、歩きたりから携帯電話やスマホを操作している人に体をぶつけられて危険な思いをしたといったトラブルも起きている。

（2016年10月27日付け「点字毎日」掲載）

視覚障害者の交通安全を守るために



視覚障害の方が、駅のホームから転落して電車にはねられ死亡するという痛ましい事故がまだまだ絶えません。8月に東京の地下鉄で盲導犬を連れた男性が、10月には近鉄大阪線で男性が線路に転落して特急電車にはねられ死亡しました。

あるアンケート調査では、視覚障害者のおよそ40%の人が「転落した経験がある」とされており、欄干のない橋のような危険な状況のホームが多数存在するのが現状です。命にかかわる大きな問題で、解決に向けて多くの知恵や力が必要です。ホームドア設置など、転落を防止するハード面整備はもちろんですが、駅員や旅客による声掛けも非常に大切なポイントです。

そこで、9月29日に京都市営地下鉄「四条」駅構内で、視覚障害者の交通安全を守るアピール活動を行いました。これは、転落事故の防止に向けて行動を起こそうと、京都市交通局と京都府視覚障害者協会と京都ライトハウスが共催したものです。視覚障害者が駅構内やホームを安心して移動できるよう協力を呼びかけるチラシを配り、ポスターを掲げて、駅を行き交う人々に訴えました。参加者は約40人で、白杖を使ったり、盲導犬を連れたりしている人への積極的な声掛けや、点字ブロックの上には立たず荷物を置かないこと、盲導犬を触らないことなどを訴え、通行の方々から大きく注目を浴びました。

駅構内というアピールに効果的な場所で行えたのも、京都市交通局の方々が使命感・危機感をしっかりと持たれて積極的に応援をいただいたからこそで、感謝申し上げます。今後も、継続した行動が必須であると感じました。今後とも各地でこのような啓発活動を広げてまいります。

## 情報ステーション

### 9月

- 1日 移動図書館／京田辺市中央図書館
- 3日 音訳初級講座(他7日)
- 7日 おたのしみ会(あいあいの合同行事)／キッズコーナー
- 8日 音訳中級講座(他2日)
- 10日 点訳入門講座(他4日)
- 13日 点訳中級講座(27日)
- 15日 音訳表現スキルアップ研修会(20日)

### 10月

- 3日 音訳初級講座(他5日)
- 6日 音訳中級講座(他2日)
- 8日 点訳入門講座(他2日)
- 13日 点訳中級講座(他2日)
- 15日 全国図書館大会 東京大会
- 17日 点訳スキルアップ研修会
- 18日 音訳表現スキルアップ研修会(20日)
- 20日 第4回全国視覚障害者情報提供施設大会(熊本市)／21日
- 30日 ライトハウスまつり／キッズコーナー

### 賑わったキッズコーナー

#### 「イエローサブマリン」

ライトハウスまつりでは情報部門の出し物として、魚釣りゲームや輪投げを3階のキッズコーナーで開催しました。壁いっぱいには絵本を並べたりハロウィン風の飾り付けを行うなど、これまでとは違った雰囲気のスペースをつくり、子どもさんから大人までたくさんの方々に楽しんでいただきました。

なお、キッズコーナーは図書館が開館している時はいつでもご利用いただけます。

## 情報製作センター

### 9月

- 14日 東本願寺出版部様来館(点字冊子作成について)
- 16日 点字版選挙支援プロジェクト事務局会議(日本点字図書館)
- 21日 近畿点字研究会例会／奈良県社会福祉総合センター
- 29日 京都市道路建設課様来館(京都駅八条口広場点字案内板について)
- 30日 改良型点字印刷機納品／小林鉄工所

### 10月

- 14日 触読校正者話し合い
- 15日 全国ロービジョンフェア出展／難波御堂筋ビル(～16日)
- 21日 国立大学法人職員来館(点字試験実施について見学・相談)
- 30日 ライトハウスまつり／キッズコーナー

### 今年度も全国ロービジョンフェアに出展

10月15日と16日の両日、難波御堂筋ビルで開催された同フェアに、出展しました。

今回は、エコバッグやF5Tモニターとのコラボ企画のポーチが好評を博しました。また、昨年2月に発売した「点字付き お坊さんめぐり」も好調な売れ行きでした。来場者からいただいた貴重なご意見は、今後の商品づくりなどに生かしていきたいと思えます。

## あいあい教室

### 9月

- 4日 お父さんたちと遊ぼう＆お母さん交流会
- 7日 イエローサブマリンお話し会
- 13日 洛陽保育園との交流
- 22日 京都府立盲学校見学会(保護者グループ)個別懇談(前期まとめ、後期個別支援計画)／11月上旬
- 26日

### 10月

- 18日 洛陽保育園との交流／船岡公園
- 19日 グループ遠足／下鴨神社・御室仁和寺・八十八カ所(～21日)
- 25日 グループ遠足(雨天につきプレイルーム)
- 30日 ライトハウスまつり／焼きそば屋

### 親子遠足に行きました!

10月は、グループごとに親子で遠足に出かけました。初めての電車や、車椅子でのバス乗車。「大丈夫かな…」とドキドキのお母さん。でも、みんなで行くから、子どもたちは意外と平気。少しくらい泣いても、ステキな体験です。

水・金曜日のグループは、下鴨神社へ出かけました。財布からお賽銭を取り出してお参り。お手製の「どんぐりポケット」に、どんぐりをいっぱい拾って入れましたね。

木曜グループは、御室仁和寺へ。年中・年長さんは、御室八十八カ所の山登りに挑戦。山道や大きな階段も、がんばって登りましたよ。

小さい子どもたちにとっては、初めてのリュックや外で食べるお弁当など、いろいろなことが体験できた遠足でした!

## 鳥居寮

- 9月**
- 4日 京都ゴルフアース協会手引き講座
  - 7日 南部サテライト／木津川市  
ビジネス講座
  - 7日 南部サテライト／京田辺市  
福祉関係者向け研修会
  - 14日 南部サテライト／長岡京市  
京都府視覚相談会／京田辺市  
健康相談
  - 21日
  - 26日
  - 28日

- 10月**
- 2日 目の愛護デー／ゼスト御池
  - 2日 あい丹後ふれあいまつり／京丹後市
  - 6日 神戸市、神戸アイライント職員施設見学
  - 11日 京都府立視力障害福祉センター見学・体験会
  - 12日 南部サテライト／京田辺市  
日盲連機能訓練事業所実態調査実施
  - 13日 南部サテライト／長岡京市  
京都府視覚障害者協会同行援護講習職員派遣（～25日）  
健康相談
  - 26日 南部サテライト／宇治市  
日本盲導犬職員施設見学
  - 29日 ライトハウスまつり／クイックマッサージ
  - 30日

### 初出展！あい丹後ふれあいまつり

京都府北部の訪問訓練等のご縁で、京都ライトハウスのブースを初めていただきました。屋外では、海に近いところならではのさざえ飯等の出店や出し物が披露されるなど、大変賑わっていました。担当したブースは、白杖の使い方について熱心に質問される方や、パソコンの音声読み上げ機能に興味を持たれる方、iPadの音声アシスタント機能『Siri』に驚きの笑顔がたくさんで、地元の方々と素敵なふれあいができました。

## らくらく

- 9月**
- 5日 実習生受入／佛教大学（～10月7日）
  - 8日 三線コンサート
  - 16日 クッキング／パンケーキ作り
  - 27日 工作／ハンガーデコレーション
  - 28日 健康相談

- 10月**
- 6日 らくらく運動会（14日）
  - 11日 実習生受入／聖カタリナ高等学校（～24日）
  - 18日 虐待者防止に係る事業所及び施設従事者研修参加
  - 26日 健康相談
  - 30日 ライトハウスまつり／プラバン
  - 31日 実習生受入／佛教大学（～12月2日）

### らくらく秋の運動会

10月6日と14日に、秋の恒例行事である「らくらく運動会」を、ライトハウス4階あけぼのホールで開催しました。種目は「玉入れ」「ボール送り」「リレー」。玉入れのカゴは高さの違うものを用意し、参加する人に応じて入れやすい高さのものを選べるようにするなど、どの種目も楽しく全員参加できるようになっています。

運動会を終えて、ゲームに負けた利用者さんが「くやしいなあ、来年は勝つで〜」と笑顔で話されていたのが印象的でした。

## FESTIVAL

- 9月**
- 4日 テンダーハウスまつり出店／マッサージ
  - 6日 新規入所／1名
  - 7日 工賃会議
  - 14日 実習受入／佛教大学（15日）
  - 27日 利用希望者見学
  - 28日 見学受入／京都縫製（株）古布作業
  - 30日 利用者退所／1名

- 10月**
- 1日 土曜日行事（BBQ会）／イン・ザ・グリーン  
工賃会議
  - 7日
  - 11日 O.A講座修了式
  - 12日 利用希望者見学／1名
  - 14日 利用者1名退所（雇用決定のため）
  - 30日 ライトハウスまつり／オープン・トモニー
  - 31日 利用希望者見学／1名

### BBQ会をみんなで楽しみました

利用者さんに希望を募り、植物園横にある「イン・ザ・グリーン」へBBQ会に出かけました。お肉はもちろんオードブルやデザートも楽しみました。

すぐ近所ですが、普段の作業風景と異なる利用者さんたちの交流の場を創り出してくれました。今回初めて行事に参加されたAさん。以前は他の障害を持たれている方に対して厳しい意見をおっしゃることもありましたが、「色んな思いでトモニーを利用しているんだね」とほつり。みなさんと楽しそうにされている様子を見るのができ温かい気持ちになりました。

## 相談支援室・ほくほく

- 9月**
- 2日 北部自立支援協議会運営会議参加
  - 7日 北部自立支援協議会支援会議参加
  - 10日 北部自立支援協議会支援センター部会参加
  - 15日 福祉関係者向け研修会参加
  - 16日 相談支援専門員等スキルアップ研修参加
  - 16日 京都府虐待研修参加
  - 26日 北部自立支援協議会児童部会情報交換会参加

- 10月**
- 3日 北部自立支援協議会児童部会事務局会議参加
  - 7日 北部自立支援協議会運営会議参加
  - 13日 リハビリテーションセンター研修 精神疾患 参加
  - 13日 ロービジョンネットワーク準備会議参加
  - 19日 北部自立支援協議会虐待判定会議参加
  - 21日 リハビリテーションセンター研修 精神疾患 参加

**さまざまな相談に対応できるよう研修を積んでいます！**

10月に開催された「京都市地域リハビリテーション推進研修」に参加しました。内容は「発達障害の特性理解とその支援」「アルコール依存症」「うつ病について」で、医師等から具体的な対応についてお聞きしました。日々様々な相談が寄せられる中、少しでも「相談してよかった」と思っていただけのように学んでいきたいと考えています。

## ライトハウス朱雀

- 9月**
- 4日 人権文化の集い参加（養護）
  - 10日 介護予防教室（養護）
  - 12日 お月見週間（デイ）（～17日）
  - 18日 敬老会（養護）

- 10月**
- 8日 壬生保育所運動会見学（養護）
  - 9日 民謡クラブ発表会（養護）
  - 10日 運動会（デイ）（11日）
  - 15日 介護予防教室（養護）
  - 17日 外食会週間（デイ）（～21日）
  - 30日 ライトハウスまつり／フランクフルト販売

**行事も充実しています**

デイサービスセンターライトハウス朱雀は、視覚に障害のある方もそうでない方も、気軽に來ていただける憩いの場です。朝は皆さん揃って音楽にあわせたストレッチ体操を行い、ゆったりと入浴や機能訓練も行っています。触覚で楽しめる箱の中身当てゲームやカラオケ大会で盛り上がりたり、他には外食で回転寿司に行ったり、嵐山方面までドライブに出かけることもあり、楽しく元気に活動中です。

どの曜日も、まだまだご利用は可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

## お知らせ

**第46回「京都ライトハウスボランティア・利用者のつどい」案内**

長年、情報部門のボランティアとして活動していただいている皆さまに感謝状をお贈りします。また、今年も、尺八の師範であり、音訳指導者として全国的に活躍されている全盲の安田知博氏に「尺八でいつの間にかバリアフリー」と題して、尺八演奏と講演をしていただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

**日時** 3月2日（木）13時～16時

**場所** 京都ライトハウス4階あけぼのホール

※参加を希望される方は、なるべく事前にお知らせください。お問い合わせ・お申込み先：情報ステーション

**第42回視覚障害者福祉啓発事業**

**「あい・らぶ・ふえあ」**

見えない・見えにくい人たちのくらしを知ろう  
子どもから大人まで

今回は幼少期、青年期、高齢期に沿って、くらしを知っていただけるよう展示を工夫しています。また、昨年大きな注目を集めたリオパラリンピックの女子柔道銅メダリスト廣瀬順子氏をお招きします（2月4日13時予定）。スペシャルトークでの感動をもつ一度「ぜひ、ご来場ください」。

**日時** 2月2日（木）～5日（日）

10時～18時（最終日のみ17時まで）

**場所** 大丸京都店 6階イベントホール



## 「あいあい教室 創設40周年」

く時代を超えて大切にしてきたものをこれからもずっとく



40周年記念のつどい 卒園生有志による“40周年あいあいコンサート”

ライトハウスの階段を上り下りしていると、2階から聞こえてくる楽しそうなピアノや歌。あいあい教室はライトハウス内で唯一子どもたちがいる部門です。そんなあいあい教室は去る11月27日、ライトハウス4階あけぼのホールにおいて、40周年記念のつどいを行いました。200名近い方がご参加くださり、改めて歴史の重みを感じます。何よりあいあい教室を利用する親子と職員とが、お互い支え合ってきた絆があつてこそその40年でした。

高橋前所長に聞きました

## 手探りだった当初の取り組み

あいあい教室は、視覚に障がいがある子どもとその保護者のための教室として、1976年10月に産声を上げました。同様の事業としては全国3番目で、どう進め

ていくかは手探り。20代の女性職員4人が、当時先進的な取り組みを行っていた東京都心身障害者福祉センターに長期研修に行ったり、自らが出産育児を経験したりしながら作ってきたのが今の取り組みの原点です。高橋弥生前所長は「大変だったけど、楽しかった。やりがいがあった」と当時のことを振り返ります。

「その頃はインターネットもなく、お母さんたちが情報を得る術もなかなかありません。地域に点在し孤立しているお母さんに手を差し伸べるため、京都府内の保健所や児童相談所、病院を訪問しました。また府内全域の幼稚園・保育所に『視覚障がい児実態調査アンケート』を送付し、実態を調べました。その情報を基に自宅に訪問し、相談活動を始めました。初めての自宅訪問は、若い私たちにはとても勇気が



要りました。京都府北部に住む親子のところにも、大きなカバンにおもちゃをいっぱい詰め込み出かけました。子どもが楽しそうに遊ぶ姿を見て、それまで目の見えないわが子の育児に一人で悩んでいたお母さんは、次回の訪問を待ち望んでくださいました。

その後、視覚障がい当事者の石田全代がスタッフに加わったことは、お母さんたちの心の支えとなり、あいあい教室の事業の充実に大きな力となりました。」



たくさんの思い出が詰まった建替前のプレイルーム”



建替で仮移転した高野のプレイルーム。作った鬼のお面をかぶってハイポーズ！

古川現所長に聞きました  
「早期支援」「家族支援」「啓発」が  
とても大切です」

## 目の病気が分かったお母さんの一番不安な時期に寄り添いたい

あいあい教室は「早期支援」を大切に、0歳の赤ちゃんから受け入れを行っています。産まれてすぐにでも、目の病気や障がいがあったときの親子の力になれるように、子どもたちへの丁寧な療育を続けてきました。視覚障がいは、生後すぐに目の病気が分かることもあります。

不安でいっぱいのお母さん。最初は、病院や保健師の紹介、お母さん同士のつながり、インターネット検索などであいあい教室を知り、連絡をとってこられます。「あいあい教室の雰囲気温かくて、子どもが歌を歌っているだけでも受け入れられていると実感した。同じような思いでいるような親子が頑張っているという空気が伝わってくる」と、あるお母さんは話されました。あいあい教室には視覚障

がいの子をもつお母さん同士をつなぐという役割もあり、「一人ぼっちじゃないよ」と知っていただくことも安心感につながります。

## お母さんたちの言葉

お母さんたちに「ここに来るようになってからの変化は？」と尋ねると、「子どもの表情が明るくなった」「子どもの見え方に気づけた」「いろいろなお母さんとお話でき、自分の気持ちも出せて、もやもやが晴れた」などの答えが返ってきます。

「自分もそうだから分かるけど、親も心の中で泣いている。『ここに来たら落ち着けるよ』と他のお母さんたちにも伝えてあげたい」という言葉が印象的でした。



頭上のパラバルーンに向かって、思いっきりバンザーイ！



# お母さん任せにせず、 家族みんなで理解して

もう一つ、あいあい教室で大切にしているのは家族支援です。保護者の思いに寄り添いながら、いろいろな相談を受けていますが、その際、母親だけでなく、父親との関わりも大切にしています。家族に「あいあい教室」を知ってもらうことは、家族みんなで子育てをしていくきっかけになり、お母さんの気持ちもぐんと楽になります。

毎年夏にはあいあいに通園している子どもたちのお兄ちゃん、お姉ちゃんが集まり、点字体験や館内探検などで視覚障がいのことを知ったり、交流を深めたりする「ぎょうだい児のつどい」を行います。秋には「お父さんたちと遊ぼう」という行事もあります。

あいあい教室には、時代を超えて長年愛されているおもちゃがたくさんあります。お父さんたちが手作りしたり、市販のものを使いやすく改良したりしているものがあります。そういう作業を通じて、お父さん同士のつながりも生まれてきます。



“ぎょうだい児のつどい”  
に集まった仲間  
で点字に挑戦



2012年 お父さん  
おもちゃづくりの会

## 「啓発」の重要性

あいあい教室は身体障害者手帳の有無にかかわらず、視覚に不安のある子どもさんへの支援を行っています。京都府内でも、地域によってはまだまだそのことが知られていません。孤立した親子がいたり、どうしていいのかわからないという不安を抱えておられたりする中で、「視覚に何かあったらあいあい教室がある。通園や訪問・相談もできるといことが少しでも広まれば親子の安心につながっていくと思う」と古川所長は啓発の重要性を訴えます。視覚障がい児の受け入れに不安を持つ保育園・幼稚園などに理解を求めていくことも重要であり、あいあい教室では園訪問や、「視覚障がい疑似体験」も継続的に行っています。

ルーペでカブト虫の観察  
仲良し3人組で「なにが  
みえる?」



夏はテラスで  
お楽しみのプール

2015(H27)年	2011(H23)年	2004(H16)年	2003(H15)年	1995(H7)年	1983(S58)年	1981(S56)年	1980(S55)年	1978(S53)年	1976(S51)年	あいあい教室40年のあゆみ
7月	4月	4月	4月	2月	7月	4月	4月	4月	9月	
放課後等デイサービス検討委員会(全4回)	土曜療育の開始	要望が実現	給食開始(長年の保護者の)	対家を小学1年生まで拡大	第1回京都視覚障害教育フォーラム開催(京都府立盲学校・京都市弱視(アイリス)教室・あいあい教室)	「マスフル」開始	地域の小学校に通う弱視児の為に「夏期弱視訓練(サマースクール)」開始	「父母の会」発足	「あいいい教室」と命名	「たんぼぼうしん」
										視覚障害児母子通園事業開始
										創刊
										(現「あいいいつうしん」)
										(目の「eye」と愛情の「愛」にちなみ名付ける)

心強い先輩方の存在



あいあい教室では、保護者と先輩保護者との交流会を開いており、先輩保護者は、いつも今の子どもたちのことを気にかけてくださいます。また、巣立っていった卒園生の中には中学・高校生になってからボランティアとして関わってくれる方もおられ、在園児や保護者にとって心強い存在です。

そんな中、あいあい教室を卒園し現在は中学校に通う田淵ゆづきさんが、11月に職場実習で来られたので、少しお話を伺いました。部活動で吹奏楽部に入り、柔らかな音色のホルンを吹いておられることから、「大きな古時計」や「エーデルワイス」も聴かせていただきました。学校では授業も楽しくて、特に理科が好きなのだとか。

在園していた頃は「ここに来るのが楽しかった」と振り返り、「教えてもらった単眼鏡の使い方は今でも役立っている」と話されま



「いっしょにいこう」  
卒園生のお姉さんと公園へお出掛け

要なことを学べる場。その人その人に合った対応をしてもらえるところが魅力です」と力強く語ってくださいました。

あいあい教室では、子どもたちが併行して通っている保育園や幼稚園との連携も大切にしています。園との関係が良好なことが子どもたちや保護者にとってもプラスに働き、地域で生活していくうえでも重要です。

子どもを真ん中にして…これからも



あいあい教室は児童福祉の制度が目まぐるしく変化する中、他府県の方も受け入れるなど、その時々ニーズに柔軟に対応してきました。

現場の職員の感覚はもっと自然体で「子どもを真ん中にして、寄り添い、向き合い、共に歩いていく」という感覚。それが当たり前普通のことで、日々がその延長」だと語ります。他方、「全国的にみても数少ない事業であり、視覚障がい乳幼児の療育をリードし、ニーズに応えていく」という使命があると感じる」とも。

また、「初めて相談に来られるときにはお母さんも不安でいっぱいだけれど、その気持ちをほぐし、安心してもらえる関係を作り、その安心感をずっと持つてもらえるように頑張っていきたい」と強い決意をにじませます。そこには40年前と変わらない、力強く



お父さんたちと遊ぼう&お母さん交流会 集まった家族みんなでハイポーズ!

くも温かい眼差しが感じられます。

これまでの積み重ねを大切にし、創設の頃からの思いをこれからもずっとつないでいきたいものです。



触る絵本で広がるお話の世界



広いプレイルームは私のお気に入り。「きょうはなにしておそぶ?」

※あいあい教室では、障害の害をひらがな表記しております。



# 京都ライトハウスまつり2016

## 「届けよう！絆のチカラ」

10月30日の晴天の下、約1,200人の皆さまにご来場をいただきありがとうございます。また、ご協賛いただきました皆さまには、ご芳名を掲げ、あらためまして感謝申し上げます。(順不同・敬称略)

- 浅井石油(株)
- アサヒ飲料販売(株)
- (株)魚国総本社京都支社
- (株)エーディックス・デベシユ京都八条店
- (株)エスアールエム
- 小川珈琲(株)
- お食事処ちどり
- (株)カスターネット
- かふえじーの
- 関西環境サービス(株)
- (一財)関西電気保安協会京都支店
- (有)京花園
- 京菓子子處鼓月
- 京菓子舗佐藤
- 京つけもの処大こう本店
- 京都紙商事(株)
- 京のお漬けもん処近海
- 金時
- フサカ自動車(有)
- (株)Gleaner
- (株)公益社
- コカ・コーラウエストベンディング(株)
- (株)コストトレード
- ココカミノルタジャパン(株)
- (株)小林鉄工所
- サイクルショップエイリン
- サワ化粧品店
- (株)サンエ芸
- (株)三光商事
- 参天製菓(株)
- (有)時代工房
- (有)紫竹庵
- (株)美業エージェンシー
- (株)シミス・ビルライフケアS・BLC関西社
- (株)杉原商会
- 寿しのむさし
- (株)千本玉壽軒
- 大福餅
- 大和電設工業(株)
- (株)タケウチ
- ツツキオートサービス
- デジタルプリント激安主ローヤル23千北店
- (株)豊原電気土木
- (株)内藤建築事務所
- (有)NOW
- (株)中川工業所
- Natural Foods and Sake まほろば
- (株)西村信太堂
- パン工房ピロ
- (有)ひのでやエコライフ研究所
- ふくしま鍼灸整骨院
- (株)フジタ
- ふたば書房紫野店
- 北京亭北大路本店
- 三井田商事(株)
- (株)ミラノ工務店
- メガネの井上
- 八百仙
- 山城紙業(株)
- レクサス北大路

※京都ライトハウスまつりの様子についてはホームページに掲載しています。

お一人、お一人を大切に送ります

## 公益社

本社 / 京都市中京区烏丸通六角上ル  
☎ 0120-004-200 [公益社 京都](#)

### ブライツホール

京都、滋賀に8つの葬祭式場

- 北ブライツホール [堀川紫明]
- 中央ブライツホール [五条東山]
- 南ブライツホール [油小路八条]
- 西ブライツホール [五条西大路]
- 山科ブライツホール [五条外環]
- 烏丸ブライツホール [烏丸高辻]
- 宇治ブライツホール [宇治槇島]
- 大津ブライツホール [大津駅南]

なが——い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、  
積み立てる、備える、管理する…  
京都銀行は、人生のさまざまなシーンで  
皆様を応援します。  
お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

 **京都銀行**  
<http://www.kyotobank.co.jp/>

a. dépêche®

www.a-depeche.com  
おしゃれな家具、インテリア雑貨のショップです

ご来店の際は、ライトハウス通信をレジにてご提示下さい。  
合計金額から **15%OFF** 致します。

a. dépêche® 店舗

※一部対象外があります  
※セール商品との併用はできませんので予めご了承下さい

- 京都八条店  
営業時間/10:00-21:00  
イオンモールKYOTO sakura館 3F
- 神戸店  
営業時間/10:00-21:00  
神戸ハーバーランド umie サウスモール 1F
- 草津店  
営業時間/10:30-20:00  
JR草津駅東口niwa+
- 京都四条店  
営業時間/10:30-20:00  
藤井大丸5F
- mozo名古屋店  
営業時間/10:00-22:00  
mozo wondercity 1F
- 越谷店  
営業時間/9:00-22:00  
イオンレイクタウンkaze 2F



# 京ラ窓

新たな1年を迎え、この1年の抱負や今の気持ちを書き初め風に漢字で表しました。それぞれの似顔絵も合わせてお楽しみください。

## 初発

新たな年を、新たな気持ちでスタートしたい！初心にもどり、確かな一歩を踏み出していきます。(鳥居寮 久保弘司)



## 氣

どんな時も気の持ちようで、楽しい方へ。そんな柔軟な心で過ごしたいと思います。(情報製作センター 小山佳代)



## 多様性

様々な人・物と接してきて、社会は成り立ちません。それぞれを尊重し、出会いを楽しめる一年にしたいです。(ほくほく 栗山拓也)



## 原点に戻る

船岡から朱雀に来て、自分自身原点に戻り、一からのスタートを新しい職員と利用者の方と一緒に築いて、養護の朱雀を盛り上げたいと思ふこのよう言葉を選びました。(ライトハウス朱雀 中村優)



## 笑門来福

笑う門には福来たる。何事も前向きに、明るく楽しくまいりましょう！(情報ステーション 高木美智子)



## 大願成就

野球指導10年目の年、全国大会で優勝したいっ！！今年は公私ともに大きな目標がありますが、「公」は内緒(笑)(FSTモニー 山本征司)



## 新

新しい年を迎えて、心一新して仕事を行うためにこの字を選びました。(らくらく 大野木達矢)



## 眞実一路

「ただひたすらに、一筋に生きる」。新年の始まりに、凛として深く心に響く言葉です。(あいあい教室 富田裕美子)



## 翔

西年の「とり」に因み「翔」。2拠点となったライトハウスが羽ばたく年となるよう、連携よく努めていきたいです。(法人事務所 北村和子)



## つながる京ラ

京都ライトハウス(京ラ)は色々な方とのつながりの中で、日々成長させていただいています。このコーナーではそんなつながりの一場面をご紹介します。

ライトハウス本館1階にある用具販売コーナー。ここでは、ものを通じて人の思いが繋がる、そんな場面に出会えます。例えば折れた白杖が持ち込まれたら、丁寧に修理。どう頑張っても修理できないこともある。だけど、ここに来れば何とかしてもらえると、という利用者さんの思いに応えたい。

年に2、3回開催しているミニ「展示会」ちょっと来て「ミ」ではつながりがさらに広がります。最新の機器を始め、スマートフォンやレコーダーなど、ちょっと気になる機器が行き慣れた京都ライトハウスで気軽に試せるとあって、参加者からは「また何か面白い企画を頼むぞ」と期待の声。担当職員の横田は、「用具や便利グッズを使うことで、生活の質が豊かになってもらえれば」と思いを語ります。「僕自身ですが、接客の際、例えば値段や色などを訊ねられたときに早く正確にお答えできるよう、環境を整えておく。そういった小さな積み重ねが重要です」

カウンターからは、今日も朗らかな笑い声が聞こえてきます。これからも、皆さまとの新しいつながりが生まれることを願っています。



編集後記——あいあい教室40周年。支えてくださる皆さまへの感謝とともに、私達が担う役割と責任の大きさを感じます。これからも親子みんなの心の明かりとなり、希望となり、愛され、生きつづける教室で在りたいと願っています。(富田裕美子)